

止めよう! 変形労働制 71

「止めよう! 変形労働制」ニュース No.71

全北海道教職員組合

2020.9.28

「1年単位の変形労働時間制」・緊急アンケートの途中経過 条例制定への手続き「まずは、各学校で 検討」が行われていない実態が明らかに

●「まずは、各学校で検討」が、条例制定の最初の手続き

「1年単位の変形労働時間制」の導入を可能とするための条例制定にあたって、文科省作成の「手引」には、「例えば県費負担教職員については、まず、各学校で検討の上、市町村教育委員会と相談し、市町村教育委員会の意向を踏まえた都道府県教育委員会において、省令や指針等を踏まえて条例等を整備する」と示されています。

「①各学校で検討」「②市町村教育委員会と相談」「③都道府県教育委員会で条例等を整備」という3段階ということです。条例制定にあたっては、この①②をふまえていなければなりません。このことは、国会審議で文科大臣も答弁しています。

●多くの学校では、説明も検討も行われていない

道教組、道高教組による緊急アンケートには、9月27日までに62件の回答が寄せられています。

それによると、「1年単位の変形労働時間制」について管理職からの説明があった学校は16.1%、学校で検討され、意見を聞かれた学校は6.5%にとどまっています。

条例制定にあたって「まずは、各学校で検討」すると文科省が作成した「手引」に示され、文科大臣が国会で答弁してきたのです。それが多くの学校で行われていないにもかかわらず条例案が道議会に提出されれば、手続き上、大きな問題があります。

●アンケートに多くの声を寄せてください

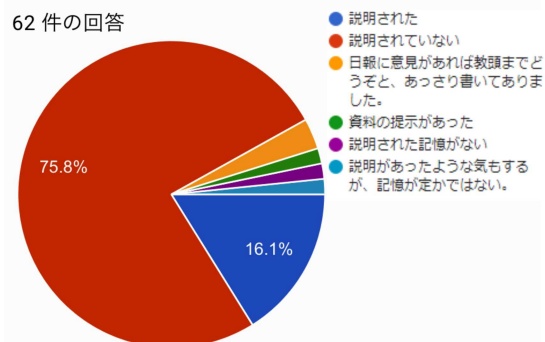
緊急アンケートの締め切りは10月2日です。その結果は記者発表して広く公表するとともに、道教委に対して条例案提出の中止を求める材料として使用します。

アンケートに未回答の方は、ぜひ、緊急アンケートにご協力ください。たくさんの回答が集まれば、その結果を道教委も無視できなくなります。

緊急アンケートへの回答は、裏面のQRコードまたはURLからお願いします。

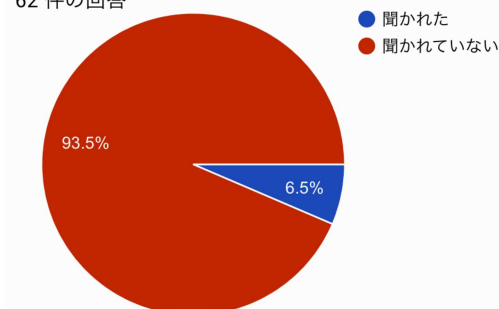
1年単位の変形労働時間制について管理職から説明がありましたか

62件の回答



管理職から1年単位の変形労働時間制の導入に関する意見を聞かれましたか

62件の回答

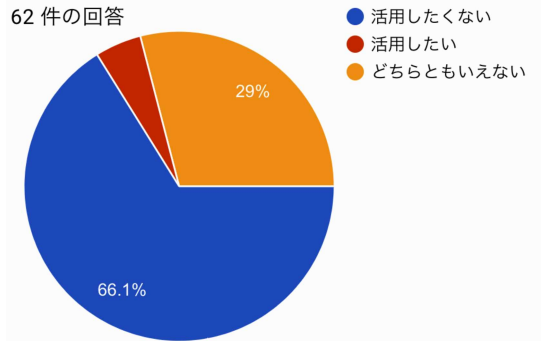


●アンケートに寄せられた声より

- ・1年単位の變形労働時間制では、長時間過密労働は解消できません。それどころか、10時間拘束されるなど、違法な残業を合法化し固定化することになります。許せません。
- ・まとめどりではなく、日々の暮らしにゆとりがほしい。仕事の量とスタッフの数を適正化してほしい。
- ・まず人を増やさないとどうにもならない。
- ・教員定数を増やし、少人数学級で解消すべきだと思う。
- ・道教委から降りてくる仕事が多すぎる。超過勤務減らそう、にはもちろん賛成だが、人を増やすことも仕事を減らすこともせず、退勤しろと言われても無理です。
- ・教員の絶対数が少ない。部活動と勤務は分離すべき。
- ・教育予算を増やして、とにかく、教職員・スタッフを増やしてください！！
- ・超勤解消のためには、新指導要領によって詰め込まれた内容の見直し、または、20人学級の実現が必要。
- ・お金も人も増やさないこれまでの施策では、超勤が解消されたとは感じられません。
- ・法律で定められた休憩時間に当り前のように会議をしなくてはならない現状を問題提起したい。
- ・教員の仕事は無限です。正規の勤務時間では処理が追いつかないのが現状です！そもそも仕事量が異常なので、そのあたりの改善を求めたいです！
- ・アンケートやチャレンジテストを減らしたり、専科教員を増やして担当する教科を減らしたりしてほしい。道徳や外国語が教科となったことで評価の仕事や教材研究の仕事が増えたが、減っている仕事はないので、多忙化は当然。定時退勤と言われるが、家に仕事を持ち帰るだけで表面上の対応にしかかかっていない。
- ・結果、年休を取得していた部分が勤務時間に割り当てられるだけで、年休取得率が下がるだけだと思う。表面的には残業がへるのだろうが、中身を伴っていない。
- ・授業時数（教える内容）を調整せずに、先生の数を増やさずに勤務時間を減らそうとしていることが矛盾しています。また、生徒指導や保護者対応での超勤にはどう対応していくのでしょうか。勤務時間を超える理由は、行事や部活などによる繁忙だけではないはずです。
- ・教員を増やし業務を削減するしか解消の方法はありません。タダ働きで支えられてきた教育を見直し、しっかりとお金と時間をかけることが、これからの社会に必要なことだと思います。
- ・30人以下学級を実現させてほしい。また、学習内容を精選して年間授業時数を減らしてほしい。現行指導要領は、教師にも子どもにも大きな負担になっています。物理的にも心理的にもゆったり過ごせる学校にしてください。
- ・超勤してもなお終わらない仕事に疲れ切っている。とにかく人を増やしてほしい。
- ・見せかけの時間外勤務縮減よりも、人を増やしてほしい。
- ・まずは現状の仕事を減らすこと。それができなければ、教職員の定数を増やし、一学級の人数を減らすことを早急におこなって欲しい。
- ・人手不足。小学校は、英語、理科など担任がすべての授業を受け持つのは物理的に不可能。多くても週20時間の授業を担当することですむような職員の配置が必要。
- ・年休が残っているので、「まとめ取り」は年休で対応可能。
- ・現状の仕事量に見合った人員の確保（増員）がない限り、負担軽減は考えられない。
- ・超勤解消について、自分ではそうしたいと思っても、職場の状況は何も変わっていない。仕事量は減らない。持ち帰りや超勤も変わらない。

あなたは、1年単位の變形労働時間制を活用したいですか

62件の回答



「1年単位の變形労働時間制」緊急アンケートへご協力ください
下記のURLまたは右のQRコードからご回答ください。(10月2日締め切りです)

<https://forms.gle/hh3Y55UBTdidHULf8>

